線路

たけのこの子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

線路

【Ｎコード】

Ｎ９８９０Ｆ

【作者名】

たけのこの子

【あらすじ】

電車の中で物思いにふけり、恋について考えている短い話です。

電車が駅に着くと、窓の向こうにひどい顔をした高校生が座っているのが見えた。彼の目は僕の目をじっと睨みつけている。何かおかしいと思って窓をよく見てみると、その顔は窓に微かに映った自分の顔だった。自分の顔を見間違えるなんてどうかしている。

電車は扉を閉めて、うなりをあげながら線路を進む。

窓に映る自分の隣には、仲良くおそろいの眼鏡をかけたカップルが座っていて、楽しそうにおしゃべりをしている。窓を通してこっそりと彼らを覗いていると、彼らの眼鏡が自分の眼鏡に似ていることに気づく。だが、彼らとの間には底の見えない谷が広がっている。なんだか自分が一人だけ仲間はずれにされているような感じだ。

さっきまで何を考えていたのだっけ。窓を見て思い出す。そうだ。恋ってなんだろう、なんて考えてしまっていたのだ。何年か前から異性のことを気にするようになっているのに、いまだ異性と交際したことはない。あと1年もたてば受験まっただなかで、異性のことなんか考えられなくなるだろう。

電車は速度を上げ、線路の上を駆け巡る。

今年が最後だ。今年中に何か行動を起こさねば。高校生活がこのまま異性との交際もないまま終わってしまっていいのか。2年前の自分が今の自分を見たら落胆するだろう。2年前はバラ色の高校生活を期待していたのに、今では勉強ばかりやっている。勉強がなんだ。勉強より大事なものがあるだろ。

でも、よく考えてみると二年前も同じことを考えていたのかもしれないな、と思う。二年前は、「二年前はバラ色の中学生活を期待していたのに」と考えていたのだったかもしれない。二年前から変わっていないのか。二年もあって期待に対する行動を起こせていないのだ。

この二年間を思い出すと、自分から色恋沙汰に対して何も努力し

ていなかったとわかる。恋をしたい、とか考えているだけで、何も努力せずに、メールでいきなり告白をし、フラれて。それで何か失ったように感じながら、失敗は成功のもとの理論で何かを得られていたと勝手に感じていた。

窓の外の景色がどんどん通り過ぎていく。

窓のカップルは自分の隣で指相撲をして遊んでいた。二人とも友人の様に楽しそうに遊んで、子供の様にはしゃいでいる。この人達はそれぞれお互いのことを恋人として意識しているのだろうか。こういうことなのかもしれないなとふと考えが浮かんだ。友人という関係の上に恋人という関係が立っているのだ。友達が友達だからこそ、一緒に遊んだり、話し合ったり、喧嘩したりして関係が発展していき、恋人になるのだと。カップルは自分が負けないようにと、腕全体を使って指相撲に集中していた。こんなこと、僕が考えているような恋人同士ではできないだろうなと思った。

電車が駅に近づき、速度を落とす。

目指すべきものが間違っていたから、今まで恋を経験できなかったのだろうか。それとも、目指すべきものは間違っていなかったのだろうか。窓には自分の顔が映っていた。

駅に着き、電車から降りる。電車は決心したように一つ息を吐く。僕を乗せていた電車がホームを抜けていく。あとには一本の線路が残されているのみだった。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9890f/

線路

2010年10月10日04時38分発行